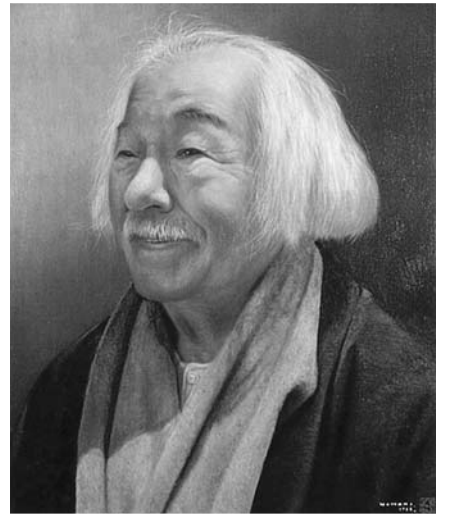


第42回蘇峰会静岡県書道展 開催要項

本書道展は公益財団法人蘇峰会が徳富蘇峰先生の偉業を顕彰し、あわせて青少年の健全育成を図り、また書道の発展に寄与することを目的に毎年開催しています。徳富蘇峰先生は江戸末期の文久3年（1863）に熊本で生まれ、昭和32年（1957）に95歳でその生涯を終えるまで、明治・大正・昭和の3代にわたって先覚ジャーナリストとして活躍されました。

その足跡をたどりますと、明治20年に「国民之友」を創刊、同23年には国民新聞社を創立、社長兼主筆として健筆を振るわれました。昭和18年には幾多の功績によって文化勲章を受章されました。先生の全100巻からなる『近世日本国民史』は不朽の名著です。

先生は静岡県とも深い関わりを持たれており、熱海の晩晴草堂にて天寿を全うされました。その薫陶を受けた方々も多く、その人たちを中心に蘇峰会が結成され今日に至っております。



徳富蘇峰翁

- 主 催／公益財団法人蘇峰会・静岡新聞社・静岡放送 駿府博物館
- 後 援／静岡県・静岡県教育委員会・静岡市・静岡市教育委員会 静岡県書道連盟
- 展覧会場／静岡市駿河区登呂3-1-1 駿府博物館
- 会 期／平成31年3月13日(水)～3月24日(日)
 <前期：3/13(水)～17(日) 後期：3/19(火)～24(日)>

(7)指定語句

第42回蘇峰会県書道展 指定語句	
園児	よいこ
小学1年生	きまり
2年生	ふるさと
3年生	つなぐ心
4年生	花さく春
5年生	大空高く
6年生	一筋の道
中学1年生	新たな志
2年生	未来を描く
3年生	永遠の友情
小学1年～中学3年	静岡県出版文化会選定
(小学生は楷書、中学生は行書)	
高校生	寂然不動(1年～3年共通・書体自由)
「読み」	せきねんふどう
「意味」	物静かであつて動揺しない心境
一般・大学生(県書道連盟、蘇峰会選定)	
①	瞳瞳初日瑞光開 忘却人間歲月催 起倚東窓先一笑 早梅數點報春來 (徳富蘇峰)
②	五月薫風過麗時 綠陰幽草有新詩 白雲浮動何多事 掩映山容百態奇 (徳富蘇峰)
③	玉柳にほふともなき枝なれど 緑の色のなつかしきかな (王葉集「藤原俊成」)
④	さきそむる花を一枝まず折りて 昔の人のためと思はむ (山家集「西行」)
	(一般・大学生は書体自由)

●一般・大学生の部の指定語句の「読み」と「意味」

一般(大学生)

①「読み」

瞳瞳たる初日瑞光開く 忘却す人間歲月催すを
起つて東窓に倚つて先ず一笑す
早梅数点春を報じて来るに

「意味」

初日がきらきらと輝き出でて、いかにも元旦らしいめでたい光が一面にひろがっている。世間のことも歳月の過ぎゆくも、すべて忘れてしまつて、長閑なものだ。立ち上がつて東の窓にもたれて、先ず微笑したのは、早梅が幾つかの花をつけて「もう春ですよ」と告げている姿である。

②「読み」

五月薫風籠を過ぐるの時 綠陰幽草新詩有り
白雲の浮動する何ぞ多事なる掩映す山容百態の奇

「意味」

五月のさわやかな風が岳麓を吹きわたる時、木陰の奥に生えた緑の草も嫩葉をそよがせ、花時にも勝つて美しく、自ら興もわいて新しい詩も生まれる。空にかかった白雲の何とせわしなく落ち着かないことよ。山の姿を掩うが如く、映ゆるが如く、忽ちにして百態の奇抜な形を見せようとは。

③「意味」

柳の咲き匂うというわけでもない枝だけれども緑に映えた色の何とも心ひかれることよ

④「意味」

開き始めた桜の花をまずは一枝手折つて亡くなった人のためにささげようと思う。

〈応募要項〉

(1) 応募資格

園児・小学生・中学生・高校生・大学生・一般で、県内に在住する方

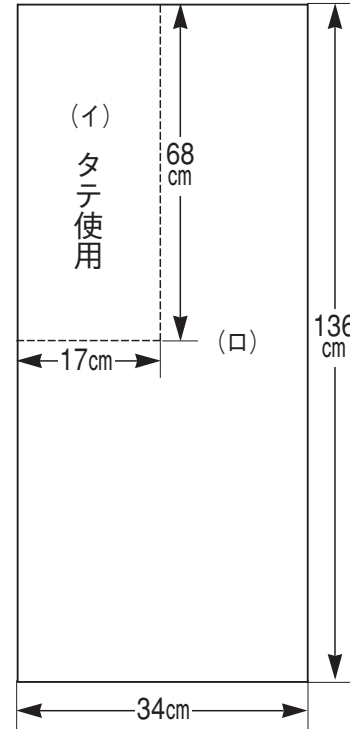
(2) 応募規定

(イ) 園児・小・中・高校生の部

- ①毛筆で一人1点、大きさは半切画仙紙の4分の1
(縦68cm×横17cm)
- ②語句は指定語句に限ります
- ③作品に学年・氏名を記入して下さい
(園児および小1、2年生までは名前のみでも可)
- ④出品作品は原則として返却いたしません

(ロ) 一般・大学生の部

- ①毛筆で一人1点、大きさは半切画仙紙(縦136cm×横34cm)
- ②表装・仮表装・裏打ちはしないで下さい
- ③語句は指定語句の中から、自由に選んで下さい
- ④作品に名前(号)、印を必ず入れて下さい
- ⑤作品の返却希望者は、出品票に『返却希望』と明記して下さい
(“着払い”で返送します)



◆共通事項(園児～一般)

- ①代表者は必ず出品票(別紙)を作成し、作品とともに提出して下さい。個人で出品される場合も同様とします。出品票は蘇峰会ホームページ(<http://www.sohoukai.com>)からダウンロードできます。
- ②作品裏側に氏名を楷書で必ず明記して下さい(鉛筆書きのこと)
- ③出品作品の搬入は郵送または宅配便で行って下さい(持参はご遠慮下さい)

(ハ) 上記規定外の作品は失格とします

- (ニ) 出品料 ※園児・小・中・高校生……200円
※大学生・一般……500円

出品料は作品に添えて郵便小為替、または作品とは別に現金書留で書道展事務局に納入して下さい。

切手での納入はお断わりします

(ホ) 募集受付期間 平成31年1月19日(土)～25日(金)(当日消印有効)

(ヘ) 応募先(問い合わせ先)

〒422-8033 静岡市駿河区登呂3-1-1

蘇峰会静岡県書道展事務局 ☎054-284-9011(平日9:00～17:00)

(3) 審査

審査は静岡県書道連盟に委嘱します

(4) 入賞発表

平成31年2月下旬 静岡新聞朝刊紙上で発表します

(ただし、優秀賞は後日、記念品の発送をもって発表に代えさせていただきます)

(5) 表彰式

平成31年3月17日(日) 静岡 新聞放送会館18階「蘇峰ホール」

(場所は静岡市駿河区登呂3-1-1 静岡新聞社)

※表彰式への出席は、会場の関係で奨励賞以上の方に限定します

(6) 賞

徳富蘇峰賞	6点
静岡県知事賞	1点
静岡市長賞	1点
静岡県教育委員会教育長賞	3点
静岡市教育長賞	3点
蘇峰会賞	5点
静岡新聞社・静岡放送社長賞	5点
駿府博物館長賞	5点
静岡県書道連盟会長賞	5点
静岡県書道連盟賞	7点
審査委員会賞	7点
奨励賞	7点
優秀賞	全作品の10%相当

※出品者全員に参加賞をさしあげます